

“かたらんね”だより



第23号 H25. 10. 2 発行
(熊本県精神保健福祉センター)

ようやく朝晩暑さがやわらぎ、いくぶん過ごしやすくなってまいりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今回は、8月の講演会と交流会のご報告、9月の球磨つどいのご報告、9月の“かたらんね”に参加された方のメッセージをご紹介します。どうぞ最後までお付き合いください。

平成 25 年度自死遺族支援を考える講演会および交流会を開催しました

8月1日には玉名市民会館にて、8月2日にはやつしろハーモニーホールにて、講演会と交流会を開催することができました。

講師はお馴染みの NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表山口和浩氏でした。酷暑の中、2日間にわたるスケジュールでしたが、自殺の現状についての詳しいお話や、ご遺族という立場からのメッセージなど、真摯にお話いただき、参加されたみなさんの心に深く響く内容でした。参加者は合わせて 100 名にのぼり、教育、医療、行政等支援に携わっておられる方々や一般の方もおられました。

また、交流会には、玉名では2名、八代では4名ご参加いただきました。みなさんこのような会へのご参加は初めてという方ばかりでした。本当に勇気を出してご参加いただいたと思います。みなさんにとって身近なところ、広い県内のいろいろな所で、こういった会を開催することの意義を、改めて感じたところです。

今回、開催地域の市町村にも広報誌への情報掲載などご協力いただきました。お便りでののご案内が遅くなってしまい、ご都合がつかずご参加いただけなかった方もいらっしゃるかもしれません。今後はできるだけ早めのご案内や身近な媒体を用いたご案内をしていきたいと思っています。

今後も、年に1度はこのような機会を設けていきたいと思っています。最後に、ご参加いただいたみなさま、想いを持っていたいただいたみなさまに感謝いたします。

球磨地域でご遺族のつどいを開催しました

9月13日に、今年度第2回目となるつどいを開催しました。残念ながらご参加はありませんでしたが、第3回は12月13日（金）に開催します。ぜひお立ち寄りください。



ご遺族からのメッセージ

9月の“かたらんね”には、1名のご参加がありました。
ゆったりとした時間を過ごさせていただきました。
メッセージをご紹介します。



今日は、私一人の出席でしたので思いっきり若い時の私の愚痴とか、子育ての思うように出来なかった事（主人のやかましさに顔が向いていた）を悔やんで、亡くなった息子に申し訳ないの思いがいつも胸をふさいで、悪かった悪かったと思って泣いてしまいましたが、お二人に何もかもぶちまけて聞いていただいたので肩の荷がおりた気がしました。ありがとうございました。



手記をお届けします



前号でもお知らせしましたが、県内在住のご遺族にメッセージを寄せていただき、『かたらんね～大切な人を自死で亡くした方の想い～』という手記を作成しました。お手元にご希望の方は、下記までご連絡ください。折り返し郵送させていただきます。

【電話】096-386-1166 【FAX】096-386-1256（増永宛て）

【住所】〒862-0920 熊本市東区月出3丁目1-120（増永宛て）

【メール】masunaga-k-dh@pref.kumamoto.lg.jp

次回の“かたらんね”開催予定

【開催日時】

11月28日（木）14時～16時

【場所】

熊本県精神保健福祉センター

2階 セラピールーム

（熊本市東区月出3丁目1-120）

※事前予約は不要です。当日会場へお越しください

※個別相談にも応じます（別日、要予約）

【お問合せ先】096-386-1166

あとがき

担当の増永です。

今年度のかたらんねは少人数のご参加が続いています。これまでのかたらんねの記録を読み返しますと、お一人お一人の顔が浮かび、どう過ごしておられるかなあと思ったりします。その後おたよりがご負担になっていないか、参加されてつらい想いをされたのではないか、という考えがふとよぎることもあります。もちろん、これからもかたらんねはお一人お一人のタイミングで立ち寄れる場になれるよう、続けていきます。ご参加を迷っておられる方は、どうぞ、お待ちしております。